

中東問題に関する次の記述のうち最も妥当なのはどれか。

1. 第一次世界大戦時、イギリスはバルフォア宣言を発し、パレスチナにユダヤ人の国を建てる運動への協力を約束した。しかし、他方でフランスがアラブの指導者フサインに戦後のアラブ人国家建設を約束しており、この両者の衝突がパレスチナ問題の原因となった。
2. ユダヤ人が一方的にイスラエル国樹立を宣言すると、これに不満を抱いたパレスチナ人がインティファダと呼ばれる民衆蜂起を行った。国連総会ではパレスチナ分割案が採択されたが、イギリスとイスラエルは第一次中東戦争を起こして、武力でパレスチナ人を一掃した。
3. エジプトがスエズ運河国有化宣言を行うと、これに反対するイギリスとフランスがイスラエルと結んでエジプトを攻撃し、第二次中東戦争が勃発した。3国はスエズ運河国有化を武力で阻止し、イスラエルはシナイ半島やガザ地区などを獲得してその領土を大幅に拡大した。
4. 第四次中東戦争では、アラブ諸国がイスラエルに圧力をかけるために、石油輸出の禁止や生産の削減などの石油戦略を発動した。その結果、これまで国際石油資本（メジャー）が供給する安価な石油に工業化の基礎を置いていた西側先進工業国の経済は大きな打撃を受けた。
5. アメリカのレーガン大統領の仲介により、イスラエルとパレスチナ解放機構は相互承認を行い、パレスチナ暫定自治協定が調印された。これにより、ガザ地区、ヨルダン川西岸地区、シナイ半島がパレスチナに返還され、パレスチナ人は自らの国を建国することが可能になった。

硝酸カリウムは、水100gに20℃で32g溶ける。20℃の硝酸カリウム飽和水溶液300gを加熱して水を蒸発させ、再び20℃に冷却したところ、硝酸カリウムの結晶が析出していた。このとき、結晶及び飽和水溶液が225gであったとすると、析出した結晶は何gか。

なお、硝酸カリウム飽和水溶液とは、限度まで硝酸カリウムを溶かした水溶液をいう。

1. 12g
2. 16g
3. 20g
4. 24g
5. 28g

正答

4

三つの野球チームA, B, Cがリーグ戦による試合を行い, それぞれの監督が試合前に3チームの成績について次のように予想した。3人の監督のうち1人はその予想が2チームとも当たり, 1人はその予想が2チームともはずれ, もう1人は1チームの予想は当たったが他の1チームの予想はずれたという。このとき言えることとして正しいのはどれか。ただし, 同順位のチームはなかったものとする。

Aチームの監督「我がチームが1位で, Bチームは3位になるだろう。」

Bチームの監督「Cチームが1位で, Aチームは2位になるだろう。」

Cチームの監督「我がチームが1位で, Bチームは2位になるだろう。」

1. Aは2位であった。
2. AはCより上位であった。
3. Bは1位であった。
4. BはAより下位であった。
5. CはBより上位であった。